

被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

私ども雑誌協会は、震災後、生活物資輸送の最優先に協力し、雑誌の発売が遅延し、ご迷惑をおかけします、との告知を雑誌、新聞、ホームページで行いました。雑誌の発売を心待ちにしていたご愛読者の皆様には心苦しい限りです。

関係の皆様の懸命なご努力で、震災後ほぼ2週間ストップしていた雑誌の配送も、次第に再開されてきています。4月第2週には全面的な配送再開も見込まれています。

雑誌出版社には、雑誌を読みたい、どこに行けば買えますか、など、被災地の読者からの要望が寄せられています。

雑誌は、ご愛読者の皆様が主役のメディアです。それぞれの雑誌の編集部が、ご愛読者との絆で結ばれ、その気持ちを紡いで雑誌をつくっています。

被災された皆様に、何ができるのか、出版業界として、真剣に向き合いながら、考えていきます。

今はわずかなルートを頼りに被災地の避難所の皆様に、雑誌の寄贈を始めています。4月6日に、約8000冊の雑誌を被災地向けに東京からトラックで現地まで、お送りだす予定です。

現在の被災地域の配送再開および他地域の配送遅れは次のとおりです。（4月1日現在）

- ・ 3月24日 岩手県沿岸部（一部地区は除く）
- ・ 3月25日 福島県会津地区（〃）
- ・ 3月28日 福島県中通り地区（〃）
- ・ 4月8日 宮城県全域（〃）
福島県浜通り（〃）

・ 北海道地区は輸送事情により、通常より1日程度発売が遅延しています。

なお、計画停電の影響で印刷・製本が遅れることがあり、場合によっては発売日に書店にお届できないことがあります。

2011年4月1日

社団法人日本雑誌協会